

単元名 はじめの学習

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 用具の扱い方や持ち方について知り、よい姿勢や持ち方を意識して書くとともに、筆の穂の柔らかさや筆圧を意識して、いろいろな太さの線を書くことができる。
(3) これから始まる毛筆学習について理解し、興味関心を高めようとする。

標準的な展開例

03020101_001

【教材名】毛筆の学習が始まるよ／学習の進め方

(P.1～P.10)

【準備等】毛筆用具、筆の持ち方の姿勢図

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 1年間の学習内容や学習の進め方について知り、書写学習に対する意欲をもつ。 ★学習の進め方を知ろう ○どんなところに毛筆文字が使われているか考える。</p> <p>○学習の目的を考える。</p> <p>○学習の進め方を知る。</p> <p>○学習したことを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りから毛筆で書かれている文字を探し日本の文字文化に触れながら、興味をもてるようにする。 ・どうして毛筆を学習するのか、確認する。 ・毛筆書写の学習を、日常の書字活動に生かしていくことを伝える。 ・教科書表紙裏P.1の「学習のめあて」を読み理解する。 ・「ためし書き」「まとめ書き」の用語の説明をする。 <p>【評】身の回りから毛筆文字を探す活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
<p>2 用具の扱い方や筆の持ち方について知り、よい姿勢や持ち方を意識して書く。筆の穂の柔らかさや筆圧を意識していろいろな太さの線を書く。 ★用具のあつかい方をおぼえて、いろいろな線を書いてみよう ○毛筆用具の名前や用具の扱い方を知る。</p> <p>○よい姿勢・筆の持ち方を理解する。</p> <p>○よい姿勢・筆の持ち方で、いろいろな線を書く。</p> <p>○自己評価する。 ○後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆用具の置き方については、実物を扱うことを通して、理解を深めるようにする。 ・いろいろな線を書く際には「穂先の向き」と「筆圧」に気を付けることを、水書板などで示範しながら説明する。 <p>【評】毛筆用具を実際に扱う活動を通して、よい姿勢や筆の持ち方の「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆は一本がけか二本がけで持ち、軸を倒さないで書くよう机間指導する。 ・力の入れ方（筆圧）によっていろいろな太さの線が書ける筆の機能を体感できるようにする。 ・教科書P.9を参考に、筆圧は三段階で示し、音で表すなどの方法で、力の入れ具合がイメージできるようにする。 ・「とん」「すうつ」「ぴた」のリズムで書くよう支援する。 <p>【評】作品を通して、毛筆の特性を理解し、いろいろな太さの線を書き分ける「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穂先の向きがよいものを一枚選ぶよう促す。 ・用紙は紙ばさみを利用して整理させ、筆の墨はよく拭き取るよう指導する。 ・硯は持って歩かないように指導し、墨の後始末に気を付けさせる。

【 備 考 】